

出 納 長 室

第1 審査の概要

1 審査の対象

(1) 一般会計

(2) 財 産

2 実地審査場所

出 納 長 室

3 審査の方法

知事から提出された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、出納長室執行分を審査した。

審査に当たっては、

(1) 決算計数は、正確であるか

(2) 予算の執行は、適正かつ効率的になされているか

(3) 財産の取得、管理、処分は、適正に処理されているか

などに主眼を置き、決算書等及び証拠書類の照合等を行うとともに、関係部局から決算についての説明を聴取するなどの方法により審査を実施した。

第2 審査の結果

1 決算計数について

審査に付された一般会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書の計数は、誤りのないものと認められる。

2 事業執行等について

特に意見を付する事項はない。

第3 決算の概要

1 歳入歳出決算の状況

(1) 一般会計

ア 歳入

(単位：千円、%)

科目(款)	予算現額	収入済額	比較増()減額	収入率
使用料及手数料	10	6	3	60.0
財産収入	929,840	905,065	24,774	97.3
繰入金	100,000	100,000	0	100
諸収入	68,800	19,906	48,893	28.9
計	1,098,650	1,024,979	73,670	93.3

歳入は、第7款使用料及手数料ほか3款であり、予算現額10億9,865万円、収入済額10億2,497万余円、比較減額7,367万余円、収入率93.3%である。

歳入の主な内容は、

・財産収入のうち、財政調整基金等の運用による利子及び配当金 9億506万余円である。

イ 歳出

(単位：千円、%)

科目(款)	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	4,275,576	4,274,458	0	1,117	100.0
公債費	6,000	1,288	0	4,711	21.5
計	4,281,576	4,275,747	0	5,828	99.9

歳出は、第2款総務費及び第17款公債費の2款で2項4目に区分し執行しており、予算現額42億8,157万余円、支出済額42億7,574万余円、不用額582万余円、執行率99.9%である。

主な執行内容は、

・職員費及び管理事務に要したものの

(項)会計管理費 (目)管理費 29億1,587万余円

・収納及び支払手数料に要したものの

(項)会計管理費 (目)公金取扱費 4億5,448万余円

・財政調整基金等への積立金に要したものの

(項)会計管理費 (目)積立金 9億410万余円

である。

なお、職員費及び管理事務に要したのものには、新銀行設立のための準備費用 8 億 6 , 9 8 3 万余円が含まれている。

2 財産の管理状況

ア 財産

区 分	平成 1 5 年度末現在高	平成 1 4 年度末現在高	増 () 減
1 物 品	2 点	2 点	0 点
2 基 金	100,000,000 円	200,000,000 円	100,000,000 円

出納長室で所管している財産は上表のとおりであり、
・基金の減少は、東京都用品調達基金の取崩しによるものである。